「人権教育を通じて育てたい資質・能力」 【参考】

自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動



自分の人権を守り、他者の人権を 守ろうとする意識・意欲・態度

(以下の「人権に関する知的理解」と「人権感覚」

とが結合するときに生じる)

人権に関する知的理解

関連

人 権 感 覚

(以下の知識的側面の能動的学習 で深化される)

関連

(以下の価値的・態度的側面と技能) 的側面の学習で高められる)

知識的側面

- 自由、責任、正義、平 等、尊厳、権利、義務、 相互依存性、連帯性等の 概念への理解
- 人権の発展・人権侵害 等に関する歴史や現状に 関する知識
- 憲法や関係する国内法 及び「世界人権宣言」その 他の人権関連の主要な条 約や法令等に関する知識
- 自尊感情・自己開示・ 偏見など、人権課題の解 決に必要な概念に関する 知識
- 人権を支援し、擁護す るために活動している国 内外の機関等についての 知識 等

価値的·態度的側面

- 人間の尊厳、自己価値及び 他者の価値を感知する感覚
- ・ 自己についての肯定的態度
- ・ 自他の価値を尊重しようと する意欲や態度
- 多様性に対する開かれた心 と肯定的評価
- ・ 正義、自由、平等などの実 現という理想に向かって活 動しようとする意欲や態度
- ・ 人権侵害を受けている人々 を支援しようとする意欲や
- 人権の観点から自己自身の 行為に責任を負う意志や態
- 社会の発達に主体的に関与 しようとする意欲や態度

技能的側面

- 人間の尊厳の平等性を踏 まえ、互いの相違を認め、 受容できるための諸技能
- 他者の痛みや感情を共感 的に受容できるための想 像力や感受性
- 関連 能動的な傾聴、適切な自 己表現等を可能とするコ ミュニケーション技能
 - ・ 他の人と対等で豊かな関 係を築くことのできる社 会的技能
 - 人間関係のゆがみ、ステ レオタイプ、偏見、差別 を見きわめる技能
 - 対立的問題を非暴力的で、 双方にとってプラスとな るように解決する技能
 - 複数の情報源から情報を 収集・吟味・分析し、公 平で均衡のとれた結論に 到達する技能 等









全ての関係者の人権が尊重されている教育の場としての学校・学級 (人権教育の成立基盤としての教育・学習環境)